



FutureMetrics™ LLC
The Leading Consultancy in the Wood Pellet Sector

CANADIAN 
BIOMASS
Media sponsor

ハンドリングとサイロ運営

火災と爆発の防止

2023年12月14日

注: 本ワークショップは日英両語で開催します。

08:30 – 09:00

開会の辞 経験の共有によってサイロの安全性を高めよう。
ゴードン・マレー カナダ木質ペレット協会専務理事

09:00 – 09:15

なぜ本ワークショップは日本で有意義か。
草野善信 株式会社レノバ エクゼクティブアドバイザー及び
FutureMetrics 社アジア政策アドバイザー

09:15 – 10:30

まずは基本から: 取扱いと貯蔵、理解による防止
ケイリー・レイナー・ブラウン Obex Risk 社

本セッションではバイオマスの取扱いと貯蔵における可燃性粉塵やガスの発生、オフガスと排気などの注意点を検討します。また、自己発熱や外部の発火源、さらにバイオマスに着火させないための最重要策も取り上げます。

10:30 – 10:45

休憩

10:45 – 12:00

火災発生: 効果的な消防活動
ジョン・スワーン FutureMetrics 社

スワーン氏は、バイオマスサイロの実証済の効果的な消火方法を共有してくれます。これにはサイロ内を不活性雰囲気とすることや、酸素とは遮断すること、そしてサイロからの材料搬出などがあります。実体験に立脚した状況判断や観察点も学びます。

12:00 – 13:00

昼食
会場で昼食をお楽しみください。

13:00 – 14:00

具体策を始めよう: 対応計画の作成

グループ活動

本演習では、参加者同士が協力してサイロ火災の対応計画を策定します。まとめあげた計画を検討し日本とカナダの双方の観点から評価します。

14:00 – 14:40

現実をみつめる: 事例研究

ジョン・スワーン及びケイリー・レイナー・ブラウン

本セッションでは、実際にあったサイロ火災事例を中心に、対応、行動計画、防止対策などを協議します。プラントの人員と地元消防署の人員のトレーニングについても取り上げます。

14:40 – 15:00

休憩

15:00 – 15:45

まとめ: より安全なサイロに向けた次のステップ

ジョン・スワーン及びケイリー・レイナー・ブラウン

安全性専門家二人が本ワークショップの内容と感想をまとめます。参加者の皆さまには、各自のプラントでサイロ火災が発生した場合に取りうる対策、そして本ワークショップで得た情報を活かしてどのように安全なサイロとしていくかについてお聞きします。

15:45 – 16:00

閉会の辞: 安全性は全員の責任

ゴードン・マレー

カナダ木質ペレット協会は、カナダ内外両方において業界、労働者、地域社会の安全性を最優先課題としてきました。マレー専務理事から、より安全なサイロと職場を作り上げていく上で有用な本ワークショップのポイントについて振り返り、感想を申し上げます。